



県内で活躍中の防犯団体の方々を紹介します。 富士吉田地区防犯連絡所協会

今回は、富士吉田警察署管内(富士吉田市、富士河口湖町、忍野村、鳴沢村、山中湖村)で活躍されている『富士吉田地区防犯連絡所協会』をご紹介します。同協会は、富士吉田警察署管内の防犯連絡所の委嘱を受けた方々で組織されており、昭和45年に設立され、構成員は15支部188名です。

長年にわたり、富士吉田警察署と連携して各種防犯活動を推進しており、小・中学校等の児童生徒の登下校時の見守り活動や乗り物盗防止活動など、を行い、平成28年からは、青色回転灯を装備した車両を運用し、各支部ごと各地区において、組織的な自主防犯パトロール活動を実施しています。警察や学校から不審者情報が寄せられれば、すぐさまパトロールを実施し、また去年は、通学路周辺で熊の出没が相次いだことから、警察署員とともにパトロール警戒を行いました。その他、金融機関や地域のイベントで電話詐欺被害防止チラシなどの防犯チラシを配布したりと、時代に沿った啓発活動も積極的に行っ



ています。会員がお揃いの黄色のベストと帽子を身につけて子どもを見守る姿は、地域住民に広く知られ、信頼を得ています。同協会会長の荒井さんは「警察署と協力しつつ、地域の安全は地域の人たちで守るという気持ちで活動を行ってきた。これからも時代に沿った活動を続けていきたい。ぜひ若い世代にも活動に加わって欲しい。」と話してくれました。同協会は、今までの活動が評価され、令和元年度安全・安心なまちづくり表彰(山梨県知事表彰)を受賞されました。

